



夏野菜・グリーンカーテン



特別養護老人ホームの中で、今年も夏野菜（キュウリ・ゴーヤ・さつま芋・トマト・スイカ）をご利用者と一緒に育てました。「水と肥料をしっかりとやらんといかんど！」と野菜作りの名人達からアドバイスを頂きながら、日々頑張って手入れをしました。「なかなか花がつかんね」と心配する時もありましたが、七月に入るとキュウリとゴーヤが次々と育ち始め、窓一面にグリーンカーテンが広がりました。

見た目も涼しく、丁度良い日影ができたのでグリーンカーテンの下でお茶会を開きました。キュウリスティックや塩昆布和えを作り、採れたての味を楽しみました。

音野舎で働いてみて

ご利用者と話をするのが楽しいです。話をしながら「なるほど」と勉強になる事や私の気分が落ち込んでいる時など前向きなお言葉「太陽様に感謝、感謝の気持ちを忘れたらダメ」などと声を掛けて頂き励まされています。

中庭等が多く気持ちよく働けます。

コミュニケーションを大切にしてチームワークを発揮して欲しい。



自分の仕事に関しては任せられる面も多いので責任を持ってやれるよう心掛けている。今の部署では楽しく仕事が出来ているのもやりの1つです。

チーム一丸となって「トライ＆エラー」で業務改善が出来れば素晴らしいと思う。コロナ禍で不自由が多い昨今ですが感染予防に努めつつ、徐々に園内外活動が出来る環境になればいいかなと思っています。



入職当時は覚える事が多く、不安に感じる事が有りましたが、1人立ちに向けて先輩が付きっきりで教えてくれるので安心して業務を覚えることが出来ました。職員同士で協力しながらスムーズに仕事を終えることが出来た時はとても達成感があります。大変な事もありますが、ご利用者から「いつもありがとう」との言葉を頂けたときは嬉しくやりのを感じます。



ここで働き初め間もないですが、今までの所に比べると働きやすいと思います。職員の皆様が色々声を掛けて頂き、優しく指導を頂けてこちらの質問にも丁寧に答えてくれました。

ご利用者より「ありがとう」「気が利くね」「助かった」等の言葉を貰えると役に立て喜んでもらえ良かった、次も頑張ろうと思えます。

資格取得を機に音野舎で働く事としました。同じ介護施設の仕事でも全く違うジャンルの仕事であり横の繋がりの重要性を感じました。音野舎は他部署との連携がとりやすい職場だと感じています。

発行

社会福祉法人 滴々会
 高齢者総合福祉施設 音野舎(のんのしゃ)
 〒897-0302
 鹿児島県南九州市知覧町郡2072番地2
 TEL 0993(58)7171 FAX 0993(83)4771
 URL <http://www.nonnosya.com/>
 E-mail info@nonnosya.com

編集後記

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆様、今年はどの秋を堪能されますか。コロナウイルスも5類へと移行となりましたが、面会や外出はコロナ前の様には行えていません。ご利用者、ご家族のご協力に感謝申し上げます。今年も残り4ヶ月となりました。日々笑顔で過ごせるよう、体調に気を付けてながらお過ごし下さい。

お墓参り



五月二日、特養入居者の桑代ハル工様がご家族の帰省に伴い、墓参りとご自宅へ外出されました。久しぶりの外出に始めは、緊張された面持ちでしたが、集落に近付くにつれて「もうすぐ我が家じゃなァ」と笑顔が見られました。みんなでお墓参りをし、その後ご自宅に行きました。久しぶりにご自宅に戻られて、「よかったです。我が家が見れて。」と大変喜ばれ、ご自宅をじっくりと眺めていらっしやいました。

コロナ等の感染症により、なかなか外出する機会を持つことが難しいですが、状況を見ながらご利用者の方々と外出する機会を作っていきたいと思えます。



父母の日



特別養護老人ホームでは、五月二十一日に父母の日行事を行いました。事前にご家族からメッセージを書いて頂き、カーネーションを添えたカードをお贈りしました。ご家族からのメッセージに感動されて涙される場面もありました。

その後は水戸黄門様に扮した職員と一緒に体操をしたり、カラオケをして楽しいひと時を過ごしました。



そうめんパーティー

少しずつ暑くなってきた七月、多機能ホームではそうめんパーティーを行いました。

二色のそうめんを準備し、緑色の紅葉を浮かべたそうめんを見たご利用者からは「わぁ、キレイ」「美味しそう」などの声が聞かれました。そして食べ始めると皆様手が止まらず「美味しいね」と言いながらモリモリ食べてとても楽しんでいる様子でした。みんなで一緒に食べるそうめんはまた一段と美味しかった様でした。



職場体験学習



五月十六日から十八日の三日間、知覧中学校(三年生)三名の職場体験学習がありました。またこの一週間は春の集まり会とも重なりとても賑やかでした。

始めは緊張していたのか、ご利用者と会話が出来ていなかった様子でした。ジェスチャーゲームやカラオケなどを通して少しずつ緊張がほぐれ、徐々に自分から積極的に話かけ、微笑ましい姿が見られました。

ご利用者の皆様は中学生が行うジェスチャーに頭を悩ませたり、カラオケでは手拍子をしたりと大盛り上がりでした。またお孫様の年に近いので中学生に話しかけられ思わず顔をほころばしている姿も見られ、例年にも増して賑やかな春の集まり会を行う事が出来ました。

三日間と短い期間でしたが、介護に興味を持ちしっかりとした意欲もあり「とても感心だな」と職員一同感じ、私達も頑張らないといけないと思えました。

今回の職場体験で学んだことを将来に役立てて下さる事を願って頑張っています。



山川ドライブ

七月十二日、十三日の二日間、山川方面へドライブに行きました。「道の駅山川港活お海道」にて食事を摂り、池田湖に立ち寄り帰って来ました。

久しぶりの外食ということもあり、皆様それぞれ好みの物を注文し喜んで食べていました。新鮮な刺身などを前に笑顔も多く見られ、食事と共にキンキンに冷えたビールも飲みご満悦な様子でした。

お土産を購入したり、ソフトクリームを食べたりと満足していました。





今年の夏祭りは首野舎玄関前にて三つのブースを用意し、コロナ対策の為各事業所時間を分け実施しました。

『ヨーヨー釣り』では「あの色がいいね」「これが取れるかな?」などご利用者同士で話をしながら参加されていました。

『黒ひげ危機一髪』のブースでは「ワッ!」とあちこちでびっくりした声が聞かれお互い顔を見合わせ笑い声も聞かれました。

夏祭りと言えばやっぱり食べたくなるのがかき氷!皆様、火照った体を冷たいかき氷でクールダウンし自然と笑顔になっていました。

まだまだ以前の夏祭りとはいきませんが、ご利用者の方々が少しでも夏を感じ喜んで頂けて良かったです。



知覧茶の寄贈

南九州市茶業振興会知覧支部茶加工会の代表の方々が来園され、新茶の贈呈がありました。知覧町内の茶工場(三十三工場)がそれぞれ自慢のお茶を持ち寄ってブレンドした知覧に一つしかない『知覧茶』だそうです。

特養から代表で二名のご利用者に取り付けていただきました。「新茶を早く飲みたいね。ありがとうございます」と笑顔が多く見られていました。みんな新茶の味を楽しみたいと思います。



ねぶた絵の寄贈

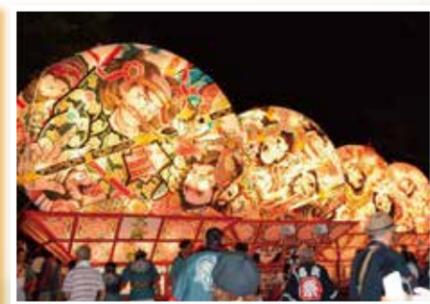
新型コロナウイルスや天候不良により中止されていた『知覧ねぶた祭』が五年ぶりに開催されるにあたり、『青森県平川市ねぶた扇会』の代表大澤説夫様と相馬守様が来園され絵の寄贈を下さいました。

相馬様はねぶたに関するうちわ・ポチ袋・ランタンなどを制作されており、知覧の商店街でも活動されています。今回寄贈された絵は『見送り絵』といわれ、ねぶたの裏に当たる部分の絵になります。反対の表に当たる絵は『鏡絵』といわれており、『見送り絵』には女性の絵と決まっているそうです。青森県では毎年ねぶたに使用される全ての絵を張り替え新しくしているそうですが、知覧町のねぶたは二、三年に一度青森のねぶた絵師に依頼し、絵の張替えを行っているとのことでした。



自分より大きな絵が披露されると、少しびっくりしたような表情をされる方や手を合わせ微笑む方、絵に見入る方など皆様それぞれの思いで絵を見ておられました。

ねぶた扇会の皆様、貴重な絵の寄贈ありがとうございました。



見送り絵 (裏)

鏡絵 (表)

～ご利用者・ご家族の皆様からの声～

昨年行った満足度調査をもとに各事業所の改善されたことなどをご紹介します。

特別養護老人ホーム・ショートステイ

【ご意見】

- ・1日も早くコロナ禍がおさまり、自由な面会やちょっとした外出ができるようになるといいのですが…。
- ・本人の表情や面会時の接し方で大事にされているのがわかります。ありがたい事です。
- ・お忙しい中写真入りの近況報告有難うございます。

【改善・今後の取り組み】

3月中旬頃から面会を窓越し面会から特養玄関での面会に変更すると、ご利用者・ご家族の方々より喜びや感謝の声を多くいただくことができました。6月に施設内に感染者が発症してしまい、それ以降の面会も窓越しでの面会に変更になってしまいましたが、ご利用者・ご家族が喜んでいただけるように対応を考慮していきたいと思っています。

デイサービス

【ご意見】

- ・デイサービスの利用日に迎えが来ないことがあった。
- ・特にありませんが名札が欲しいです。
- ・親身になって対応いただいて家族ともども大変助かっています。

【改善・今後の取り組み】

名札について、職員は胸ポケットに名前の貼り付けを行う事でご利用者から名前と呼んで下さるようになりました。迎えについて、利用日の追加・変更などケアマネ・職員間で再度確認をし、ミスの無いように対応していきます。

グループホーム

【ご意見】

- ・高齢で食べることも自分一人では満足にできない状態の母を根気よくケアして頂いていることに感謝しています。
- ・面会時の職員お一人お一人の対応と何より母の様子から常に整った環境で毎日を清潔に穏やかに暮らしているのだと感じています。
- ・食事について少なく感じています。

【改善・今後の取り組み】

食事の量に関しては、朝食はおかずも少なめなのでご飯の量を多めにしており、昼・夕はおかずの種類も量も多めなので変わらず提供しています。コロナが第5類に緩和されたが面会はまだ居室対応が出来ない為、新規入居者の場合は感染対策をした上で本人の居室で生活する空間を見ていただき契約などを行っています。

様々なご意見ありがとうございます。今後も皆様の為により良いサービスを提供できるように努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

看護小規模多機能ホーム

【ご意見】

- ・食事はもっとゆっくり食べたい。
- ・室内が寒い時がある。
- ・入浴はお湯をかけて温まりたい。また女性に対応して欲しい。
- ・送った時は靴を脱がせて上がらせてくれるので満足しています。
- ・また行きたいと思えるような気持ちになります。

【改善・今後の取り組み】

室内の換気・室温については、訴え時に説明させていただくが理解されにくいのが現状です。食事はTVをつけずに軽音楽を流し、落ち着いて食事が摂れるようにしています。摂取時間については短い方や長い時間を要する方がいらっしゃるため、途中で声かけをしたりしてゆっくり摂って頂くよう配慮しています。その他改善できる点についても取り組んでいる状況です。

ケアハウス

【ご意見】

- ・ベッドが変わり困っている。
- ・食事は麺類が食べにくいことがある。
- ・職員の皆様優しい言葉で声を掛けて下さいます。

【改善・今後の取り組み】

大きく改善されたという事はありませんが、職員全員が同じ方向を向き、お一人お一人のご利用者様に向き合う様心掛けより良いサービスが提供できる様努力しています。

ヘルパーステーション

【ご意見】

- ・一人一人の名札が欲しい。
- ・買い物について自分たちで使う物(掃除道具)だから頼んだのに断られたが買ってきてくれた。
- ・自分に出来ない事をしてもらって有難い。

【改善・今後の取り組み】

名札を付けて欲しいとの意見をいただき、首から下げる名札は支援中邪魔になる為、鞆に名札を付けています。買い物支援についてケアプランに記載が無く買い物支援が出来ないことがあり、ケアマネに相談し追加していただき支援が出来るようになりましたが、説明への理解が得られていなかったと反省しました。今後もご利用者が必要としている支援は何かを見極め、ケアマネと連携を図りより良いサービスが提供出来るようにしていきたいと思っています。

避難訓練 (昼間想定)

昼間想定での避難訓練を消防署立ち合いのもと実施しました。今回は地域の方々や中央分団、永里分団、霜出分団の方々にも参加していただき、三分団による放水なども実際に行い充実した内容の訓練となりました。

施設には火災感知器があり火災が発生した際には自動的に消防署へ通報されるようになっております。その後火災通報専用電話機に消防署からの逆信があり、出火場所や初期消火の状況、避難の状況などを伝える事でよりスムーズに避難誘導ができるようになっております。実際、夜間の場合は職員の数も少ない為電話に出る余裕がないので携帯や子機での対応でも良いのではないかと消防署の方より講評をいただきました。また、初期消火に失敗し大きな声で周囲に知らせた事、拡声器を使用し誘導をした事などが良かったとの事でした。

訓練を終えフロアの担当者三名は「避難訓練に向け練習をしたが本番では緊張のあまり練習通りに出来なかった」「防火管理者への報告を忘れ避難誘導に行ってしまった」「避難誘導の事で頭がいっぱいになり大事な二回目の全館放送を忘れてしまった」などの反省点が聞かれました。火災が発生しないように日頃より点検や訓練を行い、実際に火災が起きてしまった場合は慌てず落ち着いて避難誘導などしていけたらと思います。



炊き出し訓練

非常時災害を想定して炊き出し訓練をしました。非常食食材の紹介や、災害はいつやってくるかわからない事、日頃より意識しておく事の大切さについての講話も行いました。実際に火災や地震などが発生したらどのような行動をとるべきか？避難場所はどこに避難したらよいか？日頃から準備しておく良い物なども紹介しました。参加者は講話を聞きながらうなずいたり、質問をしたりされ熱心に聞かれました。

いざとなったら思うように動けない事が予想される為、日頃よりこのような訓練を行い防災についての意識を高めていく必要があると感じました。

